

福祉文化通信

～well-beingへの道～

2007.2.7 vol.59



(編集委員) 大輔 二見 清子
安倍 長馬 山中

TEL&FAX 048(878)3793 ホームページアドレス <http://www.fukushibunka.jp/> メールアドレス jimukyoku@fukushibunka.jp

第17回さいたま大会

事業活動報告



上：日野原重明さんによる記念講演
下：ミニシンポジウム「福祉施設と教育機関の連携」



下：福祉文化フエスティバル「助舟」
社団法人のバウ マンス
ミニシンポジウム 福祉文化創造の
実践者のたより



去る11月25日(土) 26日(日) 第17回日本福祉文化学会さいたま大会が、埼玉県さいたま市にある浦和大学で行われました。大会テーマは「福祉文化創造の当事者をめざす 福祉の転換期を迎えて」。

1日目はシンポジウム「福祉文化交流分科会 懇親会」が、2日目は「年次総会 研究発表 記念講演」ミニシンポジウムが行われました。詳細の報告は2006年度年次報告(07年6月発行予定)に掲載いたします。

この11月には、地方プロク大会も2所で行われました。

まず11月3日(金)には、宮城県栗原市において東北プロク大会が、暮らして文化を育む地域の力をテーマで開催されました。延藤安弘氏(愛知産業大学大学院)の基調講演に引き続き、昨年4月に10町村が合併してできた栗原市の今後の地域づくりを視野に入れながら、小規模多機能型の高齢者ホムの職員や中高生、また廃線が決定している通称「くり電」と呼ばれるサボクからの自由報告がありました。全国各地で進められた市町村合併の今後について、まさに地域からの文化発信の大切さが語られました。

また11月12日(日)には、長崎県南島原市のほかにわ共和国において、第1回目となる九州プロク大会が開催されました。記念シンポジウムの他、ドキメンタリ、映像の上映、また実践報告では、音楽と織物で創造する福祉文化をテーマに、地域施設で行われている彩り豊かな実践活動が報告されました。

このふたつのプロク大会についても、年次報告に掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

3月には中四国プロク大会も予定されています。是非とも多くの会員の方にご参加いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

福祉文化人インタビュー

平田美智子さん

(和泉短期大学専任講師)



Q 研究も国際的な福祉に関わることでは、いかが？

A 里親・養子縁組に関する国際比較研究や児童福祉実践研究書の翻訳 紹介などをしてきました

Q 海外との比較・交流は今後ますます重要な課題になりますね

A 日本社会福祉士会に所属し国際委員として日本と海外 特にアジア地域のソ シ ルワ カとの情報交換や交流をすすめているところで

Q 地域での活動にも様々な関わっているとのことですが

A 児童福祉分野では 養子と里親を考える会 に属し 里親や実践家と研究者の情報交換 共同研究 研修会の開催などをしていきます また 横浜市で活躍する地域の子育て支援 NPO グループの育成と研究をしています

Q それらの実践・研究の中で特に目指していることはありますか

A ソ シ ルワ カ専門職の

実践力の向上と 社会福祉専門職団体内の男女平等 具体的には女性会員の発言権の強化を重視しています

学会でも ジ ャンダ の問題 特に社会福祉専門職との関係 に関する研究 分科会を振 っていたりたいと思います 異文化ソ シ ルワ カの視点を取り入れて できたら日本に滞在する外国人の方々にも加わ っていたきたいです

Q アジアの中の日本として考えるべきことはありますか

A 昨年度 I F S W の会議の後 シンガポ ル大学のジョン・アン先生と一緒する機会がありました 先生は アジアはアジアのソ シ ルワ カの実践哲学があ てよいので 必ずそれを確立することだと述べていました

欧米の自己決定重視はあまりアジアでは馴染まないのではないかと 家族を大切にすること 家族の責任を果たすことなどがソ シ ルワ カの中に取り入れられるべきだとお し ていました この学会も是非そのようなところに一歩踏み込んでいただきたいと思えます

映画紹介

映画 筆子・その愛
天使のピアノ

監督：山田火砂子 出演：宮崎美子・加藤剛・市川笑也など
ナレーション：市川笑子
製作：現代のそとくしん

映画 筆子・その愛 天使のピアノ の舞台の 浦乃川学園 は 石井亮一により 明治30(1897)年に知的障害児の教育を専門とする学校として開設されました

そして現在は 東京都国立市谷保に移設されています

映画では その浦乃川学園での石井筆子の生涯を描いています 藩士の娘として生まれ 才色兼備だ た筆子は、鹿鳴館の華・とも呼ばれていました 最初の夫・小豊島果との間に3人の娘をもうけましたが 若くして夫を亡くしてしまいました

その後 筆子は浦乃川学園を立ち上げたばかりの研究者・石井亮一と運命的に出会い 再婚をします 自分自身 知的障害や病弱の3人の娘を抱えていた筆子は 夫・亮一と共に学園と障害児のための尽力し 後に、障害児教育の母、と呼ばれるようになります

山田火砂子監督は 日本で初めて孤児院を創設し、児童福祉の父、と言われる石井十次の生

涯を描いた前作 石井のおとうさんありがとう で児童福祉文化賞を受賞しています 石井筆子をテレビや映画でお馴染みの常盤貴子が演じ 夫・石井亮一役を歌舞伎出身の市川笑也 そして筆子の父・渡邊清役を舞台を映画で数多くの出演作がある加藤剛がそれぞれ演じています

なお 筆子・その愛 天使のピアノ には日本福祉文化学会が賛同人に名を連ね 一番 浦康子会長が推薦文を寄せています そして2006年12月20日にNHKで放送された その時歴史が動いた 母の灯火(ともしび)小さき者を照らして 石井筆子・知的障害児教育の道では 一番 浦会長がスタジオゲストとして出演されました

本作品は1月20日に東京・大森 下北沢で封切られ 2月からは新宿の他 大阪・長崎・盛岡・福島など順次 全国各地で公開されます

映画 筆子・その愛 天使のピアノ 公式サイト

<http://www.gandapro.com/tud>
<http://www.gandapro.com/tud>

・社団法人 現代のそとくしん
<http://tekinogawagakuen.co.jp>
<http://www.homepage/>

Q 児童福祉がご専門とのことですが 最近ほどのような実践に関わ っていますか？

A 福祉事務所の母子自立支援員や児童相談所の里親専門員など児童・家庭福祉のケ スワ クです

Q もう長い関わりなのですか？

A はじめはアメリカでソ シ ルワ クを学び 現地にあるアジア人を対象とした地域保健福祉センター で1年間研修をしました

帰国後はまず 日本国際社会事業団というNGOで 国際養子縁組 難民支援など 国際的な児童・家庭支援に関わ っていました

第2回福祉文化実践学会賞表彰式

昨年度から設けられました福祉文化実践学会賞は、様々な地域で行われている福祉文化実践について、特に優れているものを表彰し、福祉文化実践のより大きな発展を願うものです。

第2回福祉文化実践学会賞は、福祉文化実践学会賞規定に基づき、6月の理事会で審議した結果、NPO法人音楽の誓いに決まりました。その表彰式と代表の松原徹さんによるミニスピーチが、さいたま大会閉会セレモニの際に行われました。

その中で松原さんは、音楽の持つ力は偉大である。今後もNPO法人の活動を通して、その音楽の持つ力をいかに発揮しながら、地域づくりや青少年の育成、お年寄りの生きがい活動に取り組みでいきたいと述べられました。今後のさらなる発展を期待しています。



松原さんのスピーチ

日本福祉文化学会編 福祉文化事典の 編集について

編集について

11月に開かれました理事会総会において、学会発足20周年をめぐり、今までの活動を振り返り、今後の学会のあり方を考えるために、福祉文化事典、09年刊行予定の編集をスタトさせることが決まりました。

編集委員長には、一番 瀬康

子会長が、編集委員長には、市川 穂子、多田千尋、永山誠、馬場 清、日比野正己の各理事がなることに決まりました。

今後は、上記委員の他に、助言者や専門委員を置くほか、ホムベ、ジ等を利用しながら、会員の声を反映した事典にしていくことも確認されました。具体的なお意見等の集約方法についてはまた別途ご連絡いたしますので、よろしくお願いたします。

福祉文化の風 ① 雪国の暮いっしょ 助け合い

日本福祉文化実践学会

今年は平年に比べ気温が高く、1月中旬を過ぎたというのに、秋田市の最深積雪は0cmのままである。

昨冬は、日本海側を中心に記録的な大雪となり、平成18年豪雪と命名されたように、各地に甚大な被害をもたらした。特に、屋根の雪降ろし等の除雪作業中の死者では、全体の約3分の2を65歳以上が占めるなど、平成18年阪神淡白雪、あらためて高齢者の雪害対策が問われるこ

とに
な
た

今年、秋田県社会福祉協議会では、雪害発生時の秋田県除雪支援ボランティア、アナトワクを開設した。無内外の企業、個人、団体等がネットワクに登録し、雪害発生時に市町村社会福祉協議会の要請を受け、要援護者世帯の除雪等を行うというのである。

雪害発生時には、地域社会の助け合いはいくらまでもなく、その枠を超えて、支援が必要となる。積雪量が少ない平時時からこそ、過去の教訓をいかし、助け合いのネットワークを広げるべきである。

2006年度 日本福祉文化学会総会報告

去る11月26日、日 第17回
さいたま大会において、2006年度総会が行われました。

2006年度総会が行われました。

審議事項

第1号議案…2005年度事業報告の承認について、原案通り承認
内容については2005年度年次報告参照

第2号議案…2005年度収支決算書の承認について、原案通り承認
内容については2005年度年次報告参照

第3号議案…2006年度上半期事業報告について、計画通り事業は行われており、原案通り承認

第4号議案…2006年度上半期収支決算報告について、計画通り執行が行われており、原案通り承認

第5号議案…2007年度事業計画書の承認について、原案通り承認

第6号議案…2007年度収支予算書の承認について、原案

通り承認

第7号議案…2007年度第18回大会、北海道大会について、07年11月17日、土、18日、日に北海道江別市の北翔大学、現浅井学園大学、周辺で行う

第8号議案…第6回東北アジア福祉文化国際セミナー、in大連は中国大連市において行う、詳細は別途告知

第9号議案…福祉文化事典の編集について、学会発足20周年に向けて、編集委員会を立ち上げ、会員の声を反映させながら、福祉文化事典を編集していく

報告事項

・各委員三報告

・研究社編集委員会

・研究委員会

・企画委員会

・広報委員会

・各地方ブロック活動報告

本総会の資料等をご覧になりたい方は、事務局までご連絡ください

地方ブロック大会報告

東北ブロック

基調講演では、延藤安弘氏（愛知産業大学大学院教授・NPOまちの縁側育み隊代表理事）の講演がありました。延藤氏は、名古屋市東区の多世代が出会い交流する居場所の実践高山市や神戸市真野地区の安心して暮らせる創造的まちなぎの経験を取り上げ、暮らしと文化について語って下さいました。

自由報告では、知的障害をもつ仲間たちが地域で暮らすためのサポーター活動、オプンカレッジ5年間44講座の成果、2007年3月で廃線が決まっているくりこま電鉄の存続を呼びかけた諸活動、中学2年生の生徒による施設での交流学習で仲良くな

たお年寄りが亡くなったことへの体験、など8題の報告がありました。全体会では、菅原真枝（東北学院大学）、加藤美枝（仙台白百合女子大学）、曾根金球（栗原市社会福祉協議会）の3氏が、8つの報告をふまえて話し合いました。今大会の総括とし

九州ブロック

記念シンポジウムは、日比野正己氏（長崎純心大学現代福祉学科教授・福祉デザイン）をコパネタに、一番瀬康子会長（津曲裕次氏、筑波大学名誉教授・長崎純心大学大学院教授）、志賀俊紀氏（社会福祉法人はかにわ共和国理事長）の4氏が意見を交わしました。福祉文化は市民の手による地域の営みによって地域がま

まていくことから生まれるのであり、自分たちの住んでいる地域自分たちの身のまわりから福祉文化について考えていく必要がある、ということが語られました。

続いて、2006年に開設された通所施設「オオキニ」や「はた」と、ほかに音楽祭を紹介し、知的障害者の様々な働き方をまとめたドキュメンタリーが上映されました。上映後は、音楽と織物で創造する福祉文化をテーマに、3本の実践報告があり、大会の様子を長崎新聞でも紹介されました。参加者は会員、学生、職員等80人。

インフォメーション

第8回中・四国ブロック大会開催

テーマ：共生・協働のまちなぎと福祉文化

日時：2007年3月4日

10時～17時

会場：福山市立女子短期大学

日程：9：30 受付

10：00 開会行事

10：30 分科会 三分科会の予定

12：00 昼食・交流会

アトラクション：歌曲集

歌をとるほど大胆になるわ 全6曲

演奏とワクシ、平本弘子（福山市立女子短期大学教授）

13：30 基調講演
*一番瀬 康子会長による基調講演は都合により変更となりました

15：00 シンポジウム

テーマ：共生・協働のまちなぎと福祉文化

シンポジスト

曾根智子（ひだまりの家 代表者）

安川悦子（福山市立女子短期大学学長）

山口利勝（第一福祉大学 助教授）

コパネタ

土屋英樹（日本福祉文化学会理事）

16：50 閉会行事

18：00 懇話会

19：00 懇話会

20：00 懇話会

21：00 懇話会

22：00 懇話会

23：00 懇話会

24：00 懇話会

25：00 懇話会

26：00 懇話会

27：00 懇話会

28：00 懇話会

み下さい

申込方法

・FAXの場合

084-925-2513

福山市立女子短期大学加

納研究室

〒720-0074

福山市北本庄4-5-2

福山市立女子短期大学

生活学科 加納研究室

付 日本福祉文化学会

中国四国ブロック大会事務局

・E-mailの場合

kanoe@akuyama-jc.ac.jp

※詳細は同封のチラシを参照

新学会員（1月31日現在）

〈個人会員〉

飯島 恵子
杉山 博紀
福島 美佐子
満部 住子
山崎 貞司
吉田 明代

NPO法人ゆいの里
長崎純心大学 人文学部現代福祉学科
埼玉県新座市福祉の里
別府満部学園短期大学 介護福祉学科
北部保健福祉専門学校

〈学生会員〉

秋島 恵子
小野 敬明
滝沢 千代望
中嶋 洋

長崎純心大学大学院博士前期課程
岡山学院大学大学院
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科
上智大学大学院博士課程



300人参加、大会は
平日の夜間に開催
された。東北ブロッ
ク

シンポジウムの様子
九州ブロッ
ク